えみちゃんレポート No29

茨城県議会議員 設楽詠美子（しだらえみこ）
InstagramとFacebook　しだらえみこ　更新中
住　所　筑西市二木成993
電　話　24-9119
FAX　48-8022

茨城県政報告　　2021年　秋桜号

新型コロナウィルス感染症の流行から２年目の夏。
感染拡大の中にありますが、ワクチンの接種がすすみ、茨城県においても高齢者の重症化は明かに減っております。手洗い、マスク、うがい、歯磨きと栄養のある食事を基本に、予防を継続して力をあわせて乗り越えたいと思います。私たちはコロナ渦で見えたきた女性の自殺、生理の貧困、飲食店や中小企業の危機など、様々な課題をコロナの対策に合わせて行っているところです。
厳しい夏が続きますが、どんなときも今を慈しみ暮らすことを心に、地域の声を胸に歩んでまいります。ご相談等がございましたら、気軽にご連絡ください。E-mail：info@shidaraemiko.com

詳しくは⇑

茨城県緊急事態宣言ー 独自の宣言を発令！
8月6日（金）～31日（火）県内全域！

茨城県では、新型コロナウイルスの「デルタ株」の感染が6割（８月５日）となり急速な感染の拡大。新規陽性者数の急増。

アメリカ疾病予防管理センター（CDC）によると「デルタ株」には水ぼうそう並みの感染力があり、ワクチン接種を完了している人にも感染する可能性があるほか、従来のコロナウイルスよりも重症化する恐れがあることを公表。ワクチン未接種者が感染する確率は、ワクチン接種を完了している人に比べ３倍高く、重症化もしくは死亡するリスクは１０倍以上高い。ワクチン接種を済ませている人に感染する可能性は低いものの一度感染すると、ワクチン未接種の人と同様に他の人にウイルスをうつすことがある。ワクチンを受けてから、3週間での免疫が獲得されますが、「デルタ株」の拡大に伴い

熱中症対策をしつつ、人と接するときにはマスクの着用は必要です。

- 不要不急の外出自粛・感染リスクが高まる行動の自粛
  ※家族やいつも一緒にいる仲間と少人数で行動。混雑する場所・時間をさける。
- 他都道府県との従来自粛　「出かけない！茨城県へ帰省しない！遊びに来ない！」
- 出勤者数の削減　※テレワークの積極的活用
- 部活動の制限　※他校との練習試合、合宿等は厳しく
- すべての飲食店　午後8時～午後5時までの営業自粛
- 会食の開催には、同居家族以外ではいつも近くにいる4人まで
- 県有施設は原則休館

（娘、桃の作品）

県単独支援事業

他にも支援事業がございます。気軽にご相談ください！

住居確保給付金	029－301－3164
営業時間短縮要請に伴う協力金	029－301－5393
飲食店に関連する事業者支援一時金	029－301－5558
新型コロナウィルス感染症中小企業支援対策室	029－301－2869
茨城県よろず支援拠点	029－224－5339

8月８日～31日
茨城県が、国からの
「まん延防止等重点措置」の対象に！
より一層の強力な対策が
求められます。

ワクチン接種は感染拡大を抑えます

ワクチンの有効性・発症
「デルタ株」においても、重症化のリスクを下げます！

ワクチンを受けない人に対して差別はいけません！

ワクチン名/効果	発症予防	重症化予防
ファイザー製ワクチン（イスラエル保健当局170万人が2回接種済　2021年2月20日）	95.80%	98.90%

＊イスラエルは接種後約6か月で感染拡大に伴い、3回目の接種がスタート！

歯科医師・大久保先生による経過観察（八千代町）

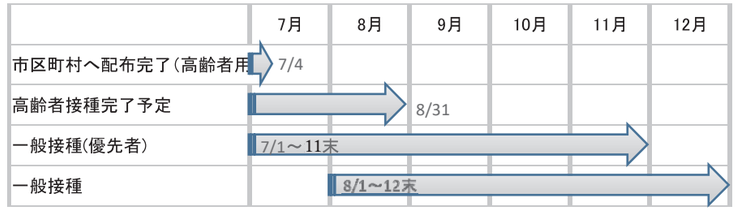
重症化リスク

18-29歳と比較したリスク	0歳	1～4歳	5～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上
入院	高い	4倍低い	9倍低い	1倍	7倍低い	8倍低い	9倍低い	10倍低い	11倍低い	12倍低い
死亡	高い	9倍低い	16倍低い	1倍	4倍高い	**10倍高い**	**30倍高い**	**90倍高い**	**230倍高い**	**630倍高い**

（CDC引用）

スケジュール

＊市町村からのスケジュールを元にまとめており、地域により多少の差はございます。



希望者すべてに12月までに接種完了を目標

八千代町は医師・看護師・薬剤師・歯科医師が連携した接種体制

１２歳上の子どもの接種について

（日本小児科学会より　6月16日発表）

① 子どもを守るためには、周囲の成人のワクチン接種が重要。
② 重篤な基礎疾患のある子どもへのワクチン接種により、感染症の重症化を防ぐことが期待。
③ 健康な子どもへのワクチン接種には、感染拡大予防と副反応を本人と養育者が充分理解してから。

詳しくは⇒

「HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン接種の手紙が届いたけれど、受けたほうがいいの？」

詳しくは⇑

高校1年生のお母さんから電話がありました。
厚生労働省は、副反応の課題からワクチン接種を積極的にすすめていませんが、子宮頸がんを予防するために、産婦人科医師、小児科医師等は重要との見解を示しています。

小学6年生から高校1年生までは、全額無料（約10万円相当）での接種が可能です。
最終的には、リスク（副反応）と効果を学び、お子さんと相談をして決めることが大切！

生理用品が県立高校５校・筑西市等の小中学校で設置！

「生理ってな～に？」

☆生理とは、医学用語で月経と言います。
思春期に始まり、閉経時までの間、およそ28日周期で起こり、通常3日から7日間続きます。**赤ちゃんを産むために必要不可欠**であり、解剖学的には妊娠ができるように、子宮内膜が肥厚し精子をむかえる準備をします。妊娠に至らないとその子宮内膜の肥厚した部分が脱落し、それを月経と呼びます。

☆この月経は、女性のみおこり、月経数日前からの月経前緊張症候群といった、いらいらや疲れやすさなどや、月経痛と呼ばれる下腹部痛や頭痛など様々な症状を起こします。
　生理の話はタブーとされ、汚物とも言われるように汚いもの隠すものとされてきました。しかし、コロナ禍において生理の貧困が社会的課題になり、**身近なところからもティッシュペーパーを代用したり生理用品の節約等の話を耳にするようになりました。**

真壁高校の生理用品ボックス

文教警察委員会で提案（3/17）

☆私は生理の貧困の課題のためだけでなく、急に生理になった時のことなどから、学校のトイレへの設置が重要と考え、文教警察委員会での提案、そして茨城県の超党派の女性政治家ネットワークのメンバーと副知事ならびに教育長に対しての要望をしてまいりました。(4/20)

生理用品の設置希望のある県立学校5校での設置がスタートし学生の皆さんと意見交換（8/3）

女子学生
「生理用品がトイレのなかにあると安心して暮らせる。」
「保健の先生には言いづらいし、はずかしい」
男子学生
「生理のことは、よくわからない」
「知らない」

※男子も生理への理解を深めることは、大切。職場での働きやすい環境、未来の子育てや家事の協力のためにも重要です。

生理の課題に取り組む糸まきプロジェクトスタート！

　筑西市7団体の皆さんと生理用品の小中学校のトイレへの設置、ならびにお困りの方への配布の要望を須藤市長にいたしました。　(5/20)
　筑西市内の小中学校すべてのトイレへの設置が決定。
　生理のときの粘膜トラブルの解消のために、さらにエコのためにも
布ナプキンづくりに挑戦！
（7 /23・30）

えみちゃんの突撃レポート

新しい校則が間もなく誕生！

小絹中学校の生徒会から、靴と靴下の色（黒・茶・グレー・紺）へと校則の拡大を学校とＰＴＡに提案！　　(7/22)

清水代表と千葉町長（阿見町）

あみシード　フードパントリー視察（5/15）

　茨城県で暮らす食べ物や生活用品にお困りの皆様へ温かな支援が届いていました。筑西市からも支援を求めて阿見町までいらしており、**県西地域でのフードパントリーの開設の必要性を実感。**
設立準備の会議をスタート！

報徳壹圓塾の活動

☆小中学校の二宮金次郎像をピカピカに☆（7/31）

「地球の保健室」の活動

学びのひろば（7/26～30）
小学校の子ども達の宿題のお手伝い。
♡娘は、今年から教える立場になり、ミニ先生として参加。

明野ひまわりフェスティバル

8月28日(土)～9月5日(日)

立派なヒマワリが皆さんをお待ちしております。**切り花も実施　！**
7月31日（土）には、450名もの地域の皆様が草取りをしました。

被害者支援条例ならびに性暴力被害根絶条例制定を見据えた勉強会スタート

7月1日　性暴力の現状と課題について
　1）とちエールの活動　済生会宇都宮乳児院　荻津院長
　2）性暴力被害者サポートネットワーク茨城の活動報告
　　臨床心理士 森田事務局長
8月17・27日　性暴力の条例と性教育につて
　1）福岡県性暴力被害根絶条例について　弁護士　世良先生
　2）性暴力を考えた性教育　福岡県の被害者支援センター
　　臨床心理士 浦理事長

性暴力根絶に向けたフラワーデモに参加（7/11）
※毎月11日に開催

※議員を対象にした勉強会ですが、参加の希望がございましたら是非、ご連絡ください。